

2022年6月8日「高齢者等の移動手段確保に向けたビジョンを描く
～持続可能で新たな公共交通を目指して～」

高齢者等の移動手段確保方策検討に関する調査研究 中間報告

奥田専務 閉会挨拶

紹介がありました、専務理事の奥田でございます。本日の運輸政策セミナー、多くの皆様にご視聴を頂きまして、誠にありがとうございました。

また、鎌田先生はじめ、パネラーの皆様には大変有意義なお話、さらに引き続きディスカッションをして頂き、ありがとうございました。

冒頭、宿利会長より「本日のセミナーは、将来にわたって高齢者等の移動手段を確保するための、持続可能で新たな公共交通はどうあるべきかについて、皆様と一緒に考えてみたい」と開催趣旨につきコメントがございましたが、皆様、如何でしたでしょうか。

本日のセミナーで、地域住民の足としての公共交通について、人口減少・高齢化、交通弱者の増加、運転手不足・事業経営の悪化をはじめ、公共交通をめぐる様々な状況があり、それらが公共交通の持続可能性にとって大きな課題となってきたこと、また、それらの課題に対応し、移動手段確保に向けて持続可能な公共交通を作り上げていくためには、今から将来を見据えたビジョンを持ちながら考えていく必要があることや、従来型の交通モデル・仕組みについての見直しも必要となってくる、ということなどについて、皆様と問題意識の共有ができ、そのことが、関係の皆様が今後の公共交通の在り方を考えていかれる上での一助となれば幸いです。

本日は、調査研究の中間報告でございましたが、今後も引き続き、鎌田先生に座長をお務め頂いております委員会において、検討を進めてまいりまして、本年度末に、最終成果をとりまとめることを予定しております。

最終成果がとりまとめられましたら、その内容につきまして、改めて、皆様方にご報告させていただきたいと考えているところでございます。

本日のテーマにつきましては、全国各地において広く課題が存在し、皆様にとって身近にご関心も非常に高いものであると思います。

私ども運輸総合研究所と致しましては、今後とも、公共交通の在り方、というテーマにつき調査研究を深め、皆様の課題解決のお役に立てるような成果を目指して参りたいと考えておりますので、皆様からの引き続きのご支援・ご指導宜しくお願い申し上げます。

最後に、ご参加頂きました皆様に、毎度のお願いでございますけれども、この後アンケートの送信をさせていただきます。今日のセミナーの内容でありますとか、今後私どもの研究所で取り上げるテーマなど、お気づきの点、何なりとお寄せ頂ければ大変ありがたく存じます。私どもは皆様からの貴重なご意見を、今後の研究所業務の改善に生かして参りたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、本セミナーは日本財団のご支援のもと開催しております。この場をお借りしまして、改めて日本財団のご支援に感謝申し上げます。

以上、簡単ではございますが、私からの閉会のご挨拶とさせていただきます。

本日は皆様のご視聴・ご参加、誠にありがとうございました。

(以上)